



Narashino International Association

SQUARE スクウェア

季刊会報

第 94 号

2011年6月1日

Narashino International Association (NIA)

平成 23 年度国際交流協会の活動について

習志野市国際交流協会会長 崎山征雄

あっという間の会長就任一年目のご挨拶となりました。一年目はおとなしく、皆様の活動状況などじっくりと拝見させて頂いて、二年目も皆様の「頭に乗っかる帽子」でありたいと願っておりました。

しかし、一年目の締めくくりともいえる、皆様で計画し周到な準備をした「ふれあい祭り」が、カウントダウンに入ってから、突然の3月11日の東日本大震災が日本を直撃してから、周囲の状況が一変しました。東北地方の大被災地は言うに及ばず、千葉県でも、習志野市でも袖ヶ浦、香澄地区は液状化の被害に遭い、傾いた家々、下水の使えない日々、などなど東北地方ほどではなくとも、我慢を強いられた非日常の日々でした。

我々、このような時には、何をどう考え、どう話したらいいのか、実に悩みます。実際に被災地にいるのならともかく、ここでは募金をしたり、出来る限りの節電をしたり、必要最低限のものしか買わないようにしたり、と出来る事を可能な限りやっではいるが、それだけでしかない。暖かいご飯を食べ、暖かい寝床で寝ているくせに、あまり自粛が過ぎると堅苦しいとか、あまり、浮かれてはいけないとか、「被災者の為に・・・すべきだ」などと勝手な思い込みで話すことは、それはある意味、偽善であり、おごりじゃないかとも思う。

そして、それにともない、3月、4月に予定された様々なイベントは中止、延期となりました。当然「ふれあい祭り」も中止となりました。

これからはタスカルーサとの姉妹都市 25 周年はあの震災の年と強く記憶される事でしょう。そしてこれからは震災後、あれから何年と記憶されるかもしれません。しかし、いつまでも自粛ムードの中で、小さくなっている事は出来ません。日本中の、世界中の、多くの方々からの大きな支援の声が高まっています。このような時こそ、前を向いて、一歩でも前進するように努力しなければなりません。イギリス人のロバート・リンドは「我々エゴイストは・・・どこかの国に蔓延するマラリアよりも、自分の頭痛を優先する」と言っていますが、これも一面の真理ですが、今の福島放射能被害のニュースを聞く時、水や必要生活必需品の不要な買いだめをして、本当に必要としている人を困らせるような国際人にはなりたくない、せめてほんの少し、人に優しくなり、自分の痛みに強くならねば、被害にあった方に合わせる顔が無い。と新世代の青少年とともに本当の意味の国際人に今こそなりたいものです。

こんな時には、こんな時だから、こんな時こそ国際交流本来の理念がこのようなかで大きく評価される時です。全エネルギーを出しつつ、行動することこそ、青少年の未来に我々の未来を重ね合わせて、よりよい習志野を、よりよいタスカルーサを作り上げねばなりません。

明日の習志野の青少年の為に。本年はタスカルーサとの姉妹都市締結 25 周年を成功させましょう。「友好の大きな花を咲かせましょう」



平成 23 年度（2011 年度）総会報告

平成 23 年 5 月 14 日（土）にサンロード津田沼 6 階大会議室で平成 23 年度総会が開催されました。

総会では、平成 22 年度事業結果及び決算報告、平成 23 年度事業計画及び予算が審議され原案どおり承認されました。また、執行部会議の設置及び会費の減免に係る会則の一部改正と新理事の選任もおこなわれ承認されました。

〈平成 22 年度（2010 年度）決算〉

平成 22 年度の決算額は、12,983,853 円です。執行率は 90.2% となりました。これは東日本を襲った大震災によるふれあい祭の中止の他、各部会事業の一部で翌年度繰越や未執行となった事業によるものです。

〈平成 23 年度（2011 年度）予算〉

平成 23 年度の予算額は 14,447,000 円で、昨年度に比べ 592,000 円の減となりました。減額の主なものは事務所運営費で、その内容は人件費及び事務所管理費となっています。

〈会則の改正〉

NIA 会則の改正は次の 2 点です。

- ① 協会が開催する会議（総会、理事会）に会長・副会長・部会長・委員長を構成メンバーとする運営会議を設けました。運営会議を設けた主な目的は協会の事業活動を円滑に推進することで、協会設立 25 周年を来年度に迎えるなか、今後の協会運営について取り組んで参りたいと考えています。
- ② 会費の納入について、特別の事情がある場合は免除することができるとしました。

〈役員〉

新役員は以下の方々です。任期は 2 年間で平成 23 年 5 月 14 日から平成 25 年 5 月迄です。

役員	役 職	氏 名
理 事	会 長	崎山 征雄
理 事	副 会 長	志村 豊
理 事	副 会 長	吉村 和成
理 事		柴崎 一雄
理 事		菊地 清
理 事		金子 和弘
理 事		藤井 謙逸
理 事		高村 久男
理 事		増田 彰司
理 事		池田 博
理 事		高村 久男
理 事		三代川寿朗
理 事		飯田 裕一
理 事		長田 弘一
理 事	姉妹都市部会長	日向 洋美
理 事	文化交流部会長	吉田 武
理 事	日本語語学部会長	田中 芳恵
理 事	広報青年部会長	高山進三郎
理 事	通訳部会長	山口大二郎
監 事		広瀬 宏幸
監 事		長安 信明



平成 23 年度（2011 年度）事業予定表

詳細な日時等については、事前に事務局にお問い合わせください。なお、一部日時等の変更となる場合がありますので、ご承知おきください。

月	開催日	行事等内容	参加対象
通年行事	毎週月曜日	チャット de ALT	会 員
	毎週月曜日	梅花会	会 員
	毎月	英語交流会	会 員
	偶数月	フライデーサロン（4, 6, 10, 12, 2月の第3金）	会 員
	右記曜日参照	日本語教室：初級（月・水・木）、中級（月・水）、漢字（火）、（土曜日相談可）、小・中学生（土）	日 本 語 学 習 者
5月	14日（土）	総会、会員の集い	会 員
	5・6・7月	春期語学講座(英語Ⅰ、英語Ⅱ、韓国語、中国語)・・・ 募集終了	会 員 ・ 一 般
6月	6日（月）、8日（水）	日本語教室（あすなろ会：茶道教室）	日 本 語 学 習 者
	23日（木）	世界の家庭料理	会 員 ・ 一 般
7月	上旬	日本語教室（七夕祭り）	日 本 語 学 習 者
	下旬	きらっと祭サンバ	会 員
8月	23日～30日	姉妹都市提携 25周年市民訪問団タスカルーサ市 訪問・・・募集終了	市 民 ・ 会 員
9月	下旬	世界の家庭料理	会 員 ・ 一 般
	下旬	日本語教室（講師親睦会）	日本語ボランティア
	9・10・11月	秋期語学講座(英語Ⅰ、英語Ⅱ、韓国語、中国語)・・・ 募集終了	会 員 ・ 一 般
10月	上旬	ミニバスハイク	会 員
	下旬	日本語教室（あすなろ会：書道教室） 日本語教室（スピーチ茶話会）	日 本 語 学 習 者 日 本 語 学 習 者
11月	中旬	第4回国際交流協会ふれあい祭	一 般 ・ 会 員
	中旬	文化講演会	一 般 ・ 会 員
	下旬	さくら祭俳句・絵画コンテスト募集	一 般 ・ 会 員
	下旬	日本語教室（あすなろ会：房総花寿司教室）	日 本 語 学 習 者
1月	中旬	日本語教室（新年茶話会）	日 本 語 学 習 者
	下旬	世界の家庭料理	会 員 ・ 一 般
	1・2・3月	冬期語学講座(英語Ⅰ、英語Ⅱ、韓国語、中国語)・・・ 募集終了	会 員 ・ 一 般
2月	中旬	日本語教室（講師研修会）	日本語ボランティア
	下旬	日本語教室（あすなろ会：折り紙教室）	日 本 語 学 習 者

※行事参加募集は、NIA のホームページでご案内します。この他、行事により、NIA 会報や広報習志野等での募集も行います。 < NIA ホームページアドレス：<http://www.nia08.com/> >

平成 23 年度（2011 年度）各部会の活動

姉妹都市部会

姉妹都市部会では、習志野市役所と連携を取りながら姉妹都市・タスカルーサ市との交流を深めています。モットーは **あ**（明るく）**か**（賢く）**さ**（さわやかな）**た**（楽しい）**な**（仲間）です。

例年の主な交流は、アラバマ大学が3月に主催する「桜祭り」に出展する絵画コンテスト（今年度は習志野市から3名が入選）や俳句コンテストの応募作の募集などです。今年は姉妹都市提携 25 周年記念行事として、8月に市民訪問団を派遣します。

姉妹都市交流部会の会議は毎月第1月曜日に開催しています。現在部員は16名ですが、タスカルーサ関係の議題だけでなく、NIAの活動を楽しく支える議論の場となっています。一時間の会議の後、スナックと飲み物付きの ONE-COIN CHAT TIME（¥500 おしゃべりタイム）を設けていますが、交流の良いアイデアがたくさん生まれています。

Let's have fun with us (*^_^*) !

交流文化部会：交流委員会

前年度は、交流委員会最後の行事である「ふれあい祭」が突然襲った東日本大震災のために急遽中止となりました。今までに経験のない大きな揺れであり、それに引き続いて起きた大津波による未曾有の大災害の中では、中止もやむを得なかったと思います。医療ボランティアを含めて世界各国の援助を受けて災害復興の取り組みが行われていますが、悲しいかな日本の国際的対応はセンスのなさを露呈しています。今こそ真の国際力が求められており、国際交流のありかたが問われている時期かもしれません。新しい年度の交流委員会では、昨年に引き続き「ミニハイクバスツアー」「市民祭りへの参加」や「第4回 NIA ふれあい祭」も企画しています。

これらの行事をとおして、習志野市民の皆さんと在住外国人の皆さんとの交流の橋渡しに少しでもお役に立てるような活動をしてまいりますので、NIA 会員各位のご協力をお願い致します。

交流文化部会：文化委員会

平成 23 年度の活動計画は次のようになります。

まず年に3回「世界の料理教室」を開きます。この料理教室では習志野市在住の外国の方にその国の伝統的な家庭料理を教えていただいています。雑誌やテレビで良く見る料理も実際に作ってみて“なるほど”と納得したり、初めて経験する味やスパイスの使い方にびっくりしたり・・・毎回参加された方から好評を頂いている楽しい教室です。1月は大変リクエストの多かった「日本の家庭料理」を勝又陽子さんに教えて頂きました。現在習志野市にお住まいの外国の方でお国の家庭料理を教えて下さる方を募集しています。

次に秋には「文化講演会」を予定しています。今年度より「文化セミナー」をやめて「文化講演会」1本に絞り、より充実した講演会を開催したいと考えています。大勢の会員と市民の皆様が楽しんで参加して下さいを願っております。

通訳部会

通訳部会では平成 23 年度活動として習志野市在住外国人が困っている行政手続きなどを言語通訳、翻訳を通し市の業務をサポートしていきます。

この他、姉妹都市タスカルーサから派遣される ALT とコミュニケーションの場を多く設定し異文化理解、語学の向上を図っていきます。

具体的には毎月月曜日開催のチャット de ALT の充実、青少年と英語を通してのコミュニケーションの場を設定する。姉妹都市部会と協力して在住外国人との交流の場のフライデーサロンを開催し楽しいひと時を分かち合います。

日本語語学部会：日本語学習委員会

今年もいつものように「日本語教室」が開かれています。と申し上げたいのですが、東日本大震災の影響で、一時帰国者が20名(20%)います。そんな中、私たちボランティアや日本語学習者だけでなく、家族や、NIAのなかま、ご近所や市民、学習者の国の人までもが、優しい気持ちで交流できることを願いながら日本語教室の活動を続けています。教室は日本語を学習するだけの場ではありません。お互いの違いや共通を知り、認め合う場であり、日本で暮らす外国人の方たちに日本の文化や生活の仕方を知っていただき、共に心地良く生きるための一助になることを願って活動しています。月・火・水・木曜日は成人対象、土曜は小・中学生の学習曜日です。今年度からは成人の土曜日学習も相談に応じます。言葉の壁で、日本の生活になかなか慣れることのできない外国人が一人でも減ってほしいと願って約100名の日本語ボランティアが活動しています。

日本語語学部会：語学研修委員会

当協会では昨年度も英語、中国語、韓国語の講座を開講いたしました。講座終了後にアンケートをお願いいたしましたが、各講座とも好評をいただきました。今後希望する講座についてもお聞きいたしましたが、韓国語の中級講座を希望される方が数名おられ、来年度に開講するかどうか検討課題といたします。

さて今年度も英語、中国語、韓国語の講座を開講いたしますが、英語に関しては、毎年多数の応募があり、多くの方にお断りをしてまいりました。そこで今年度は英語Ⅰ、英語Ⅱと2つの英語講座を開講いたします。

又、今年から中国語の懇談会として梅花会を開催しております。上海出身の郭泰基さん、北京出身の崔振艶さんを中心に、中国語を学びながら、歴史や習慣についても話し合っています。当会は月曜日の午後1時から、当協会で行われています。

広報青年部会：広報委員会

広報委員会の一番大きな仕事は、SQUAREの発行です。NIA会員相互への情報発信誌として四半期に一回発行します。習志野市内の中学校、小学校にも多くの部数が配布されています。そのため、その時節に応じた“特集”を組むなど出来るだけ子供たちにも興味を持てる記事編集に努めています。また、ホームページの更新も行います。NIAで開催する各種のイベント関連記事を適時に掲載します。これらの定常的な仕事に加えて、来年度迎えるNIA設立25周年記念誌の作成に取り組みます。これまでのNIAの活動を振り返り、新たな国際交流を目指すNIAを分かりやすく紹介していきたいと考えています。

このような活動のために当委員会では月一回の広報委員会会議、またSQUAREの発行に併せた編集会議を実施します。今は少人数の委員会ですが、楽しいアイデアをお持ちのNIA会員の皆さまに参加して頂きますように、会員募集を行っています。NIA事務局にお申し出ください。

広報青年部会：青年委員会

青年委員会は会員の減少もあり、活発な活動ができない状況となっています。

そのため、本年度は組織・体制の立て直しから取り組む必要があります。

習志野市を中心に活動する外国人との交流や、NIAが行う各種の国際交流活動にも参加して、習志野市の青少年が視野を世界に広げて、豊かな国際感覚を育むことが望まれます。

青年委員会では、習志野市ALTのGus Hahn-Powellさんや新たなメンバーを加えて、新しい活動に向けた取り組みの検討が始まりました。習志野市在住の留学生の方々や多くの青少年の皆さんの参加をお願い致します。

申し込みは下記へ。

nia@seaple.ne.jp

頑張れ日本！海外からのメッセージ

We are not Alone

Dear Mr. Sakiyama, Chair of NIA

In recent days, the people of Tuscaloosa have followed closely the tragic events in Japan and in particular, Narashino.

Our prayers are with you and your fellow citizens during this time of crises.

Please know that you are not alone of this Journey towards recovery. Since Friday, our citizens have been searching for ways to demonstrate our compassion and commitment to the people of Narashino.

To that end, the Tuscaloosa Sister Cities Commission has established the Disaster Assistance Fund which will hopefully provide resources, and more importantly, hope from your Sister City.

From the images we see on television, to the stories we read in the newspapers, we see the determination and courage of the people of Japan in facing the devastating effects of the earthquake and tsunami. In the future, look forward to visiting you in Narashino and seeing firsthand the resiliency and ingenuity of your fellow citizens. If the City of Tuscaloosa can be of assistance, please do not hesitate to contact me.

Mayer of Tuscaloosa City, Walter Maddox

崎山 NIA 会長様

此の数日タスカルーサの市民は日本と、特に習志野市における悲惨な出来事を見守ってきました。

私たちは貴方と市民の皆さまと共にこの度の危機に対して祈りを捧げます。

皆さんが復興への道程を進む時、皆さんは一人ではないということを確認して下さい。先週の金曜日以来タスカルーサ市民は習志野への私たちの想いや献身を表す方法を模索してまいりました。

最終的にタスカルーサ姉妹都市委員会は習志野市への資金とより大切な「希望」を供する災害義損基金を立ち上げました。

テレビ放送からのイメージや新聞の記事により私たちは地震と津波による甚大な被害に対峙する日本の人々の決意と勇気を見ております。将来、私は習志野市を訪問し皆様の復興や創意を直接拝見したいとおもいます。

もしタスカルーサ市にできる事がございましたら、ご遠慮なく私に連絡してください。

タスカルーサ市長ウォルター マドックス

前タスカルーサ姉妹都市委員会 専務理事 バイロン フィンドリーさんから

March 11, 2011

Dear Friends:

I hope the earthquake and tsunami has not caused any damage in Narashino City. I will be thinking of you as you deal with the disaster.

My wishes are that Japan will quickly recover.

I have many memories of my visits. You are always welcome in my home.

Sincerely, Byron Findley

2011年3月11日

皆さんへ、

この度の巨大地震とつなみの被害が習志野に生じてない事を願っております。皆さんが災害に対応しているように皆さんに心を寄せております。

日本が早急に復興することを願っています。

日本を訪問した沢山の思い出が私にはあります。

何時でも皆さんは私の家にいらしてください。

バイロン フィンドリー

タスカルーサ姉妹都市委員会 専務理事 リサ キーズさんから

Dear Friends in Narashino,
We have heard the news of the terrible earthquake off the coast of Japan this morning, and am concerned for all of you. Are you alright?
Was Narashino affected by the earthquake? Do you need help of any kind? We are so terribly sorry to hear the news, and pray for your safety and that of all friends in Narashino and Japan. Please let me know if there is anything we may do to help. We are concerned, and thinking of you!
Sincerely,
Lisa Keyes, Exective Director of Tuscaloosa Sister Cities Commission

習志野の皆さんへ
今朝ほど巨大地震が東日本を襲ったというニュースを聞きました。私は皆さんの事がとても心配です。
皆さん大丈夫ですか？ 習志野市は無事ですか？ 私たちが何か習志野市にできる事がありますか？
大震災のニュースを知り本当に心より同情しております。習志野の皆さんと日本の皆さんのご無事をお祈りしています。
私どもが出来る事がありましたら何なりとお知らせください。
私どもは皆さんを心より心配し思いを馳せています。

タスカルーサ姉妹都市委員会専務理事
リサ キーズ

ちょっと珍しい Ribbon Tying Ceremony (3月27日タスカルーサ姉妹都市委員会主催)

Yesterday we had beautiful weather for our ribbon tying ceremony in the Narashino Grove, and volunteers from the community, Tuscaloosa students who visited Narashino last summer, and members Tuscaloosa Sister Cities Commission came out to tie ribbons in a show of solidarity with Narashino.
We are thinking of you!



桜の木に結び付けられたリボンの水玉模様は、日本国旗の日の丸をイメージしてリサさんがデザインしたそうです。

私たちは3月27日、晴天のもと「習志野の森」において リボン タイ セレモニー を地域のボランティアや 昨年 習志野市を訪問したタスカルーサ青少年訪問団員とタスカルーサ姉妹都市委員会のメンバーで桜の木にリボンを結び習志野市との結束を示しました。

私たちは貴方がたを何時も思っています！



リボン タイ セレモニーに参加した皆さん

【その他のエール・メッセージ】

3月19日 ショーンドルフのバッチャー夫妻からお見舞いのメールと義捐金がリサさん経由で届きました。
また、Victoria Newton (ブリズベーン市議員)
Kim Flessler (同 上)
Marry-Ann Pattison (クイーンズランド州環境学校の校長先生)
Tim Quinn (ブリズベーンの前市長)
Mark Bailey (ブリズベーンの前市議員)
他の方々等多数の皆様の励ましを頂きました。

姉妹都市 タスカルーサ市竜巻被害のお知らせと義援金募金について

2011年4月26日から27日にかけて、アメリカ南部で相次いで竜巻が発生、最大の被災地はアラバマ州で、習志野市の姉妹都市であるタスカルーサ市が甚大 (devastating) な被害を受けました。これまでに確認された情報によりますと、竜巻は市街地を横断し、建物を破壊すると共に多くの死者（少なくとも40名）が出ているそうです。

NIAでは4月30日に崎山会長からタスカルーサ姉妹都市委員会専務理事のリサさんにお見舞いのメッセージをお届けしました。5月4日に届いたリサさんのからの情報によりますと、「多くの被災地でがれきの撤去活動作業が始まっている。長い年月がかかると思われるが、強い精神力のもと、現在あらゆる職種の人々が援助に集まっている」とのことです。

また、学校も始まり、多くの企業の活動も開始し始めているそうです。

NIAでは、習志野市と共同して「タスカルーサ市災害救援義援金」の募金を5月2日から6月30日迄行います。皆さんのあたたかいご協力をお願いいたします。



写真：下・竜巻が通過したエリア、上・市街地を襲った竜巻（タスカルーサHpより）



Tuscaloosa 市民の皆さんから習志野市に義援金をいただきました

タスカルーサ市姉妹都市委員会から義援金 6,980 \$（日本円で約57万円）が習志野市に届けられました。

姉妹都市タスカルーサ市民の皆様の温かい心に感謝申し上げます。

☆☆東日本大震災義援金☆☆ ☆☆募金について☆☆

会員及び市民の皆さんのあたたかいご支援ありがとうございました。4月30日迄に149,796円の募金が集まりました。この募金は、今回の地震で被災に遭った、習志野市をはじめとする東日本大震災の被災者への義援金として寄付させていただきます。

スクウェア 第94号

発行 2011年6月1日

習志野市国際交流協会

発行責任者 崎山 征雄
編集責任者 高山 進三郎

〒275-0016
千葉県習志野市津田沼5-12-12
サンロード津田沼4F

TEL/FAX 047-452-2650

<http://www.nia08.com/>
<Eメール> nia@seaple.ne.jp